

平成14年度東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員合同研修 (情報処理コース)

東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員研修
情報処理コース 実施協力者 長岡敏彦

1. 研修計画と実施について

研修は、平成5年度東海地区国立学校等技術職員合同研修として始まった。初年度は6コースが設けられた。初年度の情報処理コースは、安全管理、サービス、計測概論、インターフェース回路ハードウェアとソフトウェア、計算機科学概論の講義とA/D変換ボードの製作実習が実施された。平成6年度の情報処理コースは名古屋大学が当番校。私が実施担当者となった。この頃、情報工学科の教育用計算機室にSystemなどが稼働するSUNワークステーションが導入され、インターネット通信ができるようになった。早速、インターネットによる電子メールとLANの運用に技術を研修で実施することにした。再び、この研修の実施協力者となり、平成14年度の情報処理コースを担当することになった。従前の研修内容を調査したら平成6年度に実施したインターネットの研修と類似のものが続けられていた。今では安価なPC/ATが普及、無料のLinuxも配布されて各種のサーバ構築の解説書が出廻り、学部生でも容易に構築できる。また、インターネットの管理・運用も比較的容易にできるようになった。故に、このような研修から抜け出し、Web上での効率良い利用技術や他の情報技術に目を向けた研修が必要であるとみて検討した。受講者もシステム技術、生体電子情報技術、生理・病理・心理、情報処理技術、電子技術などに従事する技官が参加しやすいものとした。講義や実習は、受講者の興味を引き、新鮮なものになるように配慮した。

2. 日程、会場、受講者数

平成14年9月4日(水)～平成14年9月6日(金)
名古屋大学(名古屋市千種区不老町)
受講者数: 39名

3. 講義と実習の内容

1) 講義

講義は、人間と機械をつなぐ技術(人工眼とインターフェース)、学校経営や教育効果を高める情報コア技術の導入と実践、超高集積IC設計技術、情報通信技術、労働安全行政に焦点を絞り、企業、民間研究所、国立や私立大学、行政機関の第1人者に依頼した。講義の内容については、依頼した講師と連絡を取り合って内容を深めた。

2) 実習

三種類の実習コースを設けた。コースは、予備知識や基礎技術知識がなくてもできるもの、有る程度の知識と経験が必要のものに分けた。実習の講義は、コースに特化したユニークなものとし、講師と実習担当者とは良く打ち合わせて内容を煮詰めた。なお、技術職員が担当する二種の実習コースについてはリハールを重ね、問題点を洗い出して品質を高めた。

3) 施設見学

情報連携基盤センター、情報文化学部計算機室、情報メディア教育センター、電子情報図書館を見学した(一部においては実演や実習を含む)。

4. 受講者からの反響

東海・北陸地区の国立大学等の13機関より39名の参加があった。研修の最終日に各講義と実習、施設見学について、受講者からアンケート形式による評価を受けた。それによれば、39名のほとんどが講義、実習、見学の内容は、とてもよく検討され、充実していた。その内容はとても良く、新鮮で、非常に興味を引き、参考資料手渡され、大いに満足であった。

5. 謝意

快く講義をお引き受け下さった各方面の先生方、並びにこの研修を実施するにあたって施設を提供して下さいました名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻、情報文化学部、情報連携基盤センター、情報メディア教育センター、電子図書館の関係者に深謝致します。

6. 研修担当者および実施協力者

研修担当者	森田洋子	名古屋大学事務局総務部人事課	専門職員(研修担当)
研修実施協力者	長岡敏彦	同 工学部・工学研究科技術部	技術長
	大下 弘	同	技術主任
	藤谷善照、大久保興平、稲石守男		技術班長
	大下 弘、中務孝広、佐々木康俊、美原義正、伊藤恵美		技術主任
	清水利文		前任専門職員

平成14年度東海・北陸地区国立学校等教室系技術職員合同研修（情報処理コース）日程表

研修期間 平成14年9月4日（水）～6日（金）
 研修会場 名古屋大学

9:00-9:20	9:20-9:40	9:40-10:10	10:10-11:30	11:30-12:00	12:00-13:00	13:00-14:30	14:30-16:10	16:10-17:00	17:00-18:30
第1日目 9月4日 (水)	受付 オリエンテーション 記念写真撮影	開講式 愛知労働局労働基準 部安全課安全専門官 藤枝康時 (会場1)	「安全」 名古屋大学 人事課長 白石健二 (会場1)	「服務」 名古屋大学 白石健二 (会場1)	昼食 休憩	「名古屋大学における 情報基盤」 名古屋大学情報連携基盤 センター 助教授 梶田 将司 (会場2)	(講義3) 「人と機械をつなぐ技術 人工眼と眼球運動イン ターフェース」 (株)ニデック ニデック視覚研究所 所長 八木 透 (会場2)	(講義4) (講義5) 高木 一義 (会場2) (講義6) 大下 弘 (会場2) (講義7) 佐々木、 美原、中務 (会場3)	意見交換（花の木）
第2日目 9月5日 (木)	(実習1) ハードウェア記述言語による論理回路設計 工学研究科情報工学専攻 情報メディア教育センター 講師 高木 一義 (会場2)	(実習2) データ通信 工学部技術部 大下 弘 伊藤 恵美 (会場2)	(実習3) PC/ATパソコンの組立とOSインストール 工学部技術部 佐々木康俊 中務 孝弘 美原 義正 稲石 守男 藤谷 善照 長岡 敏彦 (会場3)	昼食 休憩	(実習1) ハードウェア記述言語による論理回路設計 工学研究科情報工学専攻 情報メディア教育センター 講師 高木 一義 (会場2)	(実習2) データ通信 工学部技術部 大下 弘 伊藤 恵美 (会場2)	(実習3) 小規模LANの構築 工学部技術部 佐々木康俊 中務 孝弘 美原 義正 稲石 守男 藤谷 善照 長岡 敏彦 (会場3)		
第3日目 9月6日 (金)	(講義8) 「ネットワークセキュリティ の動向」 (株)インターネッツイニシア チブ技術本部システム技術部 小西 智久 (会場2)	(講義9) 「立命館大学統合情報システム とその利用例の紹介」 立命館大学理工学部 情報学科 教授 亀井 且有 (会場2)	昼食 休憩	情報化学部計算機室 図書館☆ 情報メディア教育センター 情報連携基盤センター ☆印：2班に分れ、半数ずつ見学、待機時間中に アンケートを記入	情報化学部計算機室 13:00～13:45 (45分) 図書館☆ 13:55～14:30 (40分) 情報メディア教育センター 14:45～15:25 (30分) 情報連携基盤センター 15:30～16:15 (40分) ☆印：2班に分れ、半数ずつ見学、待機時間中に アンケートを記入	閉 講 式			

会場1：名古屋大学豊田講堂第1会議室
 会場2：工学研究科情報工学専攻計算機室（工学部8号館南館3階）
 会場3：工学研究科情報工学専攻実験室1（工学部8号館北館2階）
 講師控室：情報工学専攻非常勤講師室（工学部8号館北館2階209室）
 講義5：実習1に関連する講義。
 実習1：回路設計、デジタル回路設計の手順を概説し、CADソフトを用いて、論理シミュレーション、論理合成などの実習を行う。
 実習2：C言語プログラム作成経験のある方。
 実習3：PC/AT互換パソコンの組立とOSのインストール並びに小規模LANを構築する。未経験の方を対象とする。